

主要施策	産業の充実による活力あるまちづくり
施策の柱	8 商工業の振興
施策の分類	商工業の振興

■ 現状と課題

○ 商工業の振興

国道339号バイパス沿いには、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」、ショッピングセンター、温泉等の商業施設が立地し、消費者の集客はやや増加傾向にあります。

しかし、これらの立地により、既存の商店街では店舗数が減少し、買い物をする住民の利便性は低下しています。

また、地元就労の場としての立地企業数は、平成17年と平成21年を比較すると2事業所の増加が見られるものの、従業者数では19.8%も減少しており、若年層の定住を促進するためにもてこ入れが必要です。

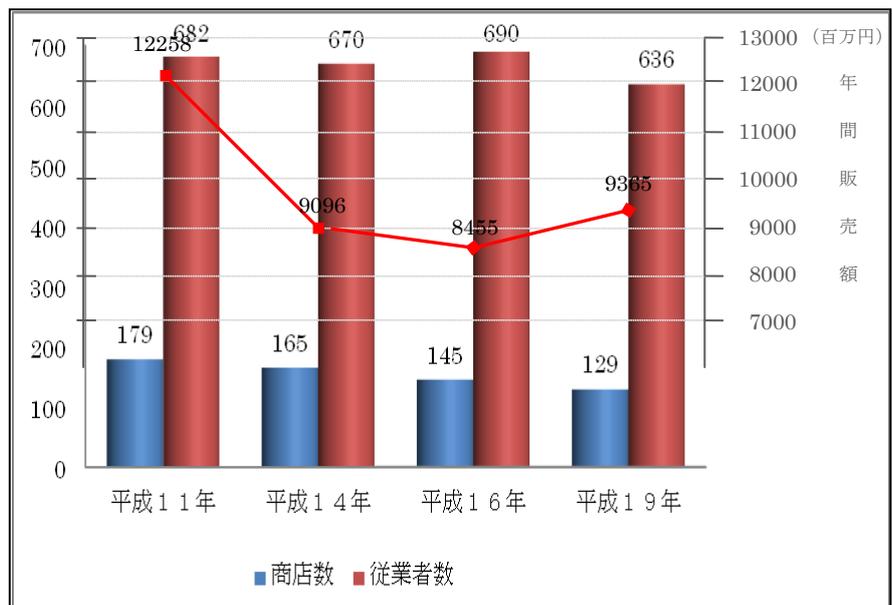
○ 経営体質の強化

高齢社会や人口の減少、また多様化するライフスタイルに対応した、誰もが利用しやすい魅力的な商店街を形成するため、商業者の意識改革、経営体制の改善を図る必要があります。

8-1 商店数・従業者数・商品販売額の推移および商工会会員数の推移

	商店数	(単位：百万円)		商工会会員数	
		従業者数	商品販売額	平成19年	平成20年
平成11年	179	682	12,258	321人	312人
平成14年	165	670	9,096	299人	289人
平成16年	145	690	8,455	289人	289人
平成19年	129	636	9,365	285人	285人

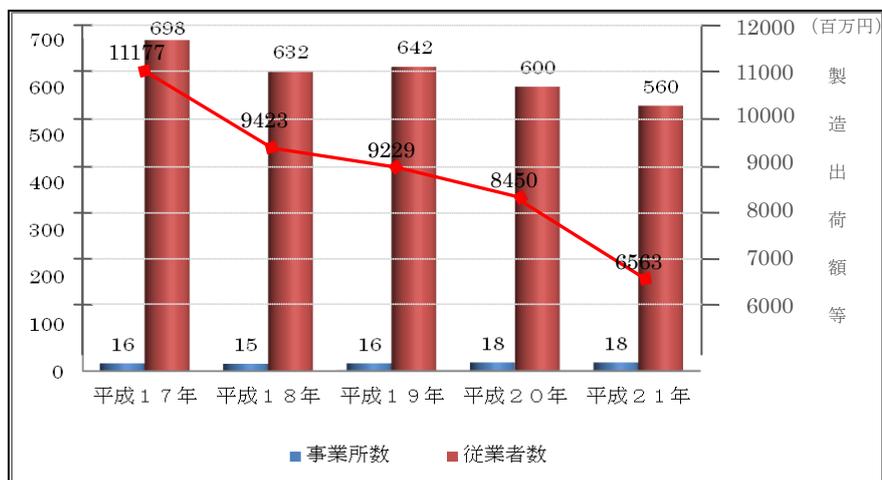
(出典:商業統計)



8-2 事業所数・従業者数・工業製造品出荷額等の推移

	(単位：百万円)		
	事業所数	従業者数	製造品出荷額
平成17年	16	698	11,177
平成18年	15	632	9,423
平成19年	16	642	9,229
平成20年	18	600	8,450
平成21年	18	560	6,563

(出典:工業統計)



■ 目指す姿（基本方針）

- 商工会の組織強化と経営指導体制の充実を図り、需要が高い商品店舗の強化を促進し、地域の生活基盤となるまちを目指します。
- 独自の商品券の発行などサービスの充実を図り、地元商店街を活性化させるとともに、消費者のニーズに合ったまちを目指します。
- 既存の商店街で定期的にイベントを企画し、町民が安心して楽しんで参加できる場として、子供から高齢者までのたくさんの人が集まるまちを目指します。
- 空き工場の有効活用のため、新たな企業を誘致するとともに、既存の地元企業の活用・発展にも力を入れ、総合的な発展を遂げるまちを目指します。

■ 施策の内容

- 当町の優れている「都市部との交通アクセスや自然環境」などをアピールして企業の誘致を推進していきます。
- 消費者の集客が見込まれる商業施設の誘致を促進し、既存の施設周辺への集積を進めます。
- 資金制度の活用による設備投資など、経営基盤強化の促進を図ります。
- 既存の商店街が地域の特性を生かしたイベントを企画し、多くの集客を図り、交流できる場として活用できる体制づくりを推進します。

担当：産業観光課